

絵画の部

最優秀



相原小学校 4年 小川 竜

優秀



九沢小学校 3年 田所 力輝斗

優秀



共和小学校 6年 川名 飛慧

佳作



陽光台小学校 3年 前田 奏音

佳作



共和小学校 3年 川名 爽太

佳作



相原小学校 6年 小川 未来

絵画の部 選評

例年、相模原市青少年健全育成啓発絵画・作文・標語募集は、青少年健全育成に関する作品を通して、青少年の考えを深く理解するとともに、広く市民から募集することで、市民の青少年健全育成への意識向上を図り、今後の啓発活動の一助とすることを目的として行われています。

また、今年度のテーマは、「家族のこと」、「地域・社会のこと」、「学校のこと」の三つが設定されましたが、絵画の部においては、応募者にとって身近な題材や生活の一コマが生き生きと描かれている力作、一四二点が揃いました。

審査員全員が「審査」という目で作品を見ていても、その描かれている人々の笑顔や表情から、その場の状況や描かれている人々の心の中にある楽しさ、うれしさ、喜びなどが手に取るように伝わり、しばしその役目を忘れてしまうほどでした。それ故、難しい審査となりましたが、最優秀賞一作品、優秀賞二作品、佳作三作品を選出しました。

まず、最優秀賞には相原小学校四年生の小川竜さんの作品が選出されました。自分の弟さんか妹さんを家族みんなであやしている場面で、大変ほほえましく、和やかな雰囲気が出る作品となっています。また、真上からの視点で描かれていることと周りの色遣いから立体的に且つ、その動きまでもが感じられるものになっています。赤ちゃんを中心として、家族の絆がよく描かれているところが選考の理由となりました。

次に、優秀賞には共和小学校六年生の川名飛慧さんと九沢小学校一年生の田所力輝斗さんの作品が選出されました。川名さんの作品は、家族での誕生日パーティーの様子が描かれています。その笑顔から誕生日を家族全員が祝い、家族の良さや優しさが溢れている作品となっています。また、審査段階では作品だけでおこなわれましたので、後から判明したことです。川名さんは昨年が続いての優秀賞受賞となっています。田所さんの作品も、家族で訪れた河原でのバーベキューの一場面と思われます。大胆な色遣いから一人ひとりの動きや特に目の表情が生き生きと描かれ、その場での会話までもが聞こえてくるような作品となっています。

また、佳作の三作品からも同様に、家族とのひとときや地域の行事に参加した時の様子が描かれ、応募者の思いが伝わる作品となっていました。

全体的にどの作品も、応募者が体験したことや日頃考えていることなどが伝わるものとなっており、家族や友だち、地域の人々との「ふれあい」が描かれているものばかりでした。応募された作品の源となっているのは、やはり家庭や学校、地域等での良き体験や思い出なのだと実感しました。

最後になりますが、今後も多数の作品が応募され、その絵画を通して多くの市民の方々が子どもたちの健全育成に関心を持ち、子どもたちの健やかな成長が図れるよう、青少年健全育成啓発活動がますます広がっていくことを願い、選評とします。